

技術提案書を特定するための基準

【湯来地域における小中一貫教育校校舎新築工事に伴う基本・実施設計業務】

評価項目	評価の着目点			配点 (評価の比重)		
	判断基準			小計		
参加表明者の技術等	別紙 10「技術提案書の提出者を選定するための基準」による。			30	30 (30.0%)	
業務実施方針及び手法 (評価に当たっては、技術提案書の内容及びヒアリングの結果により、総合的に判断を行う。)	業務の理解度及び取組意欲		業務内容、業務背景、手続の理解が高く、積極性が見られる場合に優位に評価する。	10	10 (10.0%)	
	業務の実施方針		業務の実施方針、取組体制、設計チームの特徴（協力体制・業務分担体制等）について、的確性、独創性、実現性等を総合的に評価する。	10	10 (10.0%)	
	評価テーマ等に対する技術提案	＜評価テーマ 1＞ 主体的で深い学びを実現することができる施設		設定したテーマ等に対する技術提案について、的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的見地に基づく独創的な提案がなされているか等）、実現性（提案が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮して提案ごとに総合的に判断する。 各テーマの内容については下記を参照すること。	20	50 (50.0%)
		＜評価テーマ 2＞ 地域と連携・協働できる施設			15	
		＜評価テーマ 3＞ 湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設			10	
		その他、設計上の配慮事項等（評価テーマに対する内容を除く。）			5	
合計点				100 (100.0%)		

※ 以下の非特定基準点のいずれかに該当する者は、特定しないこととする。

- ① 評価項目「業務実施方針及び手法」の評価点の合計が 70 点満点中 6 割未満
- ② 同項目の 6 つの評価の着目点のうち、いずれかの評価点が各配点の 2 割以下

● 評価テーマの内容

・評価テーマ 1 : 「主体的で深い学びを実現することができる施設」

小・中学校の枠を超えた異年齢との活動や交流を活発に行えるとともに、児童生徒の学びへの意欲や探求心、主体性を引き出すことができるように工夫した施設の提案を求める。

・評価テーマ 2 : 「地域と連携・協働できる施設」

学校施設としてのセキュリティに配慮しつつも、学校教育活動と地域活動が連携しやすく、地域住民との活動や交流が活発に行えるよう、地域活動の利用が想定される諸室（地域活動室、家庭科教室、音楽教室、理科教室、図書室など）の動線の確保やゾーニング計画を工夫した施設の提案を求める。

・評価テーマ 3 : 「湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設」

自然豊かな湯来地域にふさわしい魅力的な学校とするため、次の点について提案を求める。ただし、いずれの提案においても、耐久性及びメンテナンス性に配慮するとともに、ライフサイクルコストの縮減に努めること。

- ・内部空間について、温かみを感じられるような内部を木質化した計画とすること。
- ・外観について、温かみを感じられるような配色とすることや、木をモチーフにしたデザインにするなど木を感じられる計画とすること。